

# 免疫不全の方へのCOVID-19ワクチン参考ガイド

免疫不全の方は、特にCOVID-19に感染しやすくなっています。以下のいずれかの症状がある場合、中程度から重度の免疫不全とみなされ、COVID-19ワクチンの追加接種を受けることでメリットを得られる場合があります。このグループには以下の方が含まれます。

- » 腫瘍または血液の癌に対して積極的な癌治療を受けている方。
- » 臓器移植を受け、免疫系の機能を抑制する薬を服用している方。
- » 2年以内に幹細胞移植を受けた方、あるいは免疫系の機能を抑制する薬を服用している方。
- » 中程度または重度の原発性免疫不全症 (DiGeorge症候群、Wiskott-Aldrich症候群など) を患っている方。
- » HIV感染症が進行した方、またはHIV感染症未治療の方。
- » 免疫反応を抑制する可能性のある高用量のコルチコステロイド投与による積極的治療を受けている方、あるいは同様の他の薬を服用している方。

このリストには、全ての免疫不全の状態が含まれているわけではありません。追加接種でご自身にメリットが得られるかどうかは、かかりつけ医療機関にご相談ください。免疫不全の方は、以下の表を見て、COVID-19から身を守っていくために何回の接種ができるのかをご確認ください。

接種済みワクチンの種類	年齢層	初回分のワクチン	追加の1回の接種を受けるべきですか？	ブースター接種を受けられますか？
Moderna	生後6ヶ月から4歳まで	28日間隔を開けて2回接種	はい。2回目の接種から少なくとも28日経過した後、追加接種を受けてください。	はい。生後6ヶ月から4歳のお子さんは、初回分接種と同じ種類のアップデートされた2回の接種を受けることを推奨しています。
	5歳	28日間隔を開けて2回接種	はい。2回目の接種から少なくとも28日経過した後、追加接種を受けてください。	はい。5歳以上の方には、アップデートされたPfizerかModernaの2回ブースター接種を受けることを推奨しています。
	6歳以上	28日間隔を開けて2回接種	はい。2回目の接種から少なくとも28日経過した後、追加接種を受けてください。	はい。6歳以上の方については、最後に接種してから2カ月経ってから、アップデートされたPfizerまたはModernaの2回mRNAブースター接種を受け、最新の状態にすることを推奨しています。 18歳以上でこれまでブースター接種を受けておらず、アップデートされたmRNAブースターを受けられない、または受ける予定がない場合でも、初回分のワクチン接種を終えてから、Novavaxのブースター接種を受けるという選択もできます。
Pfizer	生後6ヶ月から4歳まで	<b>3回接種</b> ：最初の2回の接種は21日間の期間を開けて行い、3回目の接種はその8週間後	今回は、初回分の追加接種は受けなくても大丈夫です。	いいえ。今回は既にPfizerの初回分接種を受けた生後6ヶ月から4歳のお子さんへのアップデートされた2回の接種は認められていません。
	5歳	21日間隔を開けて2回接種	はい。2回目の接種から少なくとも28日経過した後、追加接種を受けてください。	はい。Pfizerの接種をした5歳以上の方には、アップデートされたPfizerの2回ブースターの接種のみ受けることができます。
	6歳以上	21日間隔を開けて2回接種	はい。2回目の接種から少なくとも28日経過した後、追加接種を受けてください。	はい。6歳以上の方については、最後に接種してから2カ月経ってから、アップデートされたPfizerまたはModernaの2回mRNAブースター接種を受け、最新の状態にすることを推奨しています。 18歳以上でこれまでブースター接種を受けておらず、アップデートされたmRNAブースターを受けられない、または受ける予定がない場合でも、初回分のワクチン接種を終えてから6ヶ月後にNovavaxのブースター接種を受けるという選択もできます。
Johnson & Johnson	18歳以上	1回接種	はい。J&Jの1回接種から28日が経過してから、mRNAワクチンの追加接種を受けてください。	はい。最後に接種してから2カ月経ってから、アップデートされたPfizerまたはModernaの2回mRNAブースター接種を受け、最新の状態にすることを推奨しています。 18歳以上でこれまでブースター接種を受けておらず、アップデートされたmRNAブースターを受けられない、または受ける予定がない場合でも、初回分のワクチン接種を終えてから6ヶ月後にNovavaxのブースター接種を受けるという選択もできます。
Novavax	12歳以上	21日間隔を開けて2回接種	いいえ、今回は、接種初回分の追加の接種は受けなくても大丈夫です。	はい。12歳以上の方については、最後に接種してから2カ月経ってから、アップデートされたPfizerまたはModernaの2回mRNAブースター接種を受け、最新の状態にすることを推奨しています。 18歳以上でこれまでブースター接種を受けておらず、アップデートされたmRNAブースターを受けられない、または受ける予定がない場合でも、初回分のワクチン接種を終えてから6ヶ月後に、Novavaxのブースター接種を受けるという選択もできます。

# よくある質問

## ワクチンのブースター接種は、追加接種とどう違うのでしょうか？

追加接種とは、初回分のワクチン接種を終えた（上記表参照）あと、十分な免疫が得られなかった人に対して行う接種のことです。

ブースター接種は、初回分のワクチン接種後の保護およびまたは免疫の強化や再構築を目的に、時間が経って薄れてきた人に対して行います。

## COVID-19の重症化リスクが高くなるのは、どのような健康状態の人ですか？

年齢を問わず、以下に挙げる状態の人は、COVID-19が重症化する可能性がさらに高いです。

COVID-19ワクチンの接種（初回分接種とブースター接種）やその他COVID-19感染予防策を行うことは、もしあなたが高齢で、あるいはこのリストに含まれるような複数の症状、または深刻な病気がある場合は重要なことです。このリストには、COVID-19重症化のリスクが高くなる可能性がある症状の全てが含まれているわけではありません。ここに含まれない健康状態がある場合には、どのように病気を管理しCOVID-19から身を守るのが最も望ましいかを、医療機関に相談してください。

- » 癌
- » 慢性の腎臓疾患
- » 慢性の肝臓疾患
- » 慢性の肺疾患
- » 認知症、またはその他神経症状
- » 糖尿病（1型、2型）
- » ダウン症
- » 心臓疾患
- » HIV感染症
- » 免疫不全状態（免疫システムが低下）
- » メンタルヘルス症状
- » 過体重、肥満
- » 妊娠中
- » 鎌状赤血球病、またはサラセミア
- » 現在、または過去の喫煙者
- » 臓器移植、または血液幹細胞の移植
- » 脳卒中、または脳への血流に影響がある脳血管疾患
- » 物質使用障害
- » 結核

## アップデートされた/2価ブースターとは何ですか？

アップデートされた/2価COVID-19ブースターとは、従来のコロナウイルス株に対してだけでなく、現在の感染の多くを占める新しい変異株に対しても保護効果があるよう免疫機能が高められた製法のワクチンのことです。アップデートされたブースター接種は、コロナウイルスに対して最適な予防効果を得られるようにし、時間の経過とともに弱まる保護効果を再び保つことを目指しています。

## 中程度から重度の免疫不全である人がこれらのワクチン接種を受けるのに、医師の診断書/処方またはその他の書類が必要ですか？

いいえ、ワクチン接種場所で身分証明の提示をすれば、すべての接種を受けられます。このような人たちがワクチンを接種する際に、支障が生じることはないようになっています。免疫不全の方で特定の疾患について質問がある場合は、かかりつけの医療機関に追加接種を受けることができるか相談してください。

## COVID-19ワクチンを受けた場合でも、他の予防措置を続ける必要はありますか？

はい、ワクチン接種をしても、一部の屋内公共スペースではマスクを着用する必要があります。詳しい情報は[マスクおよびフェイスカバーについてのFAQページ](#)（英語）にあります。頻繁に手を洗い、人と6フィート（約2メートル）の間隔をとって、集まりを制限することも推奨しています。

COVID-19ワクチンには優れた予防効果がありますが、100%保護できるものではありません。ワクチンを接種している人でもCOVID-19に感染することはあります。より感染力の強い変異株が広まってきているため、ウイルスの感染を食い止めるためにも、全員のマスクの着用といった予防措置を取ることが大切です。

ご不明な点がありますか？[doh.wa.gov/covidbooster](https://doh.wa.gov/covidbooster)をご覧ください。